

2001年

12月号

Stage Up

生涯学習情報誌
ステージ・アップ
通巻 No.106



写真：「残り物に福あり」（メジロ）右田政一さん撮影（幸区のさいわい緑道付近にて）

- もくじ**
- 2 特集 インタビュー 佐保田善司さん
 - 4 生涯学習ア・ラ・カルト
 - 6 ぐるーぷ BOX / いま地域で学校で
 - 7 まち・ひと・多面体 / 暮らし百景 歌壇
 - 8 イベントパーク

発行・(財)川崎市生涯学習振興事業団
〈ホームページ〉<http://www.kpal.or.jp>

〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1
TEL 044(733)5560(代) / FAX 044(739)0085
ステージ・アップ直通 TEL 044(733)5811 E-メール: stage-up@kpal.or.jp

特集

インタビュー

佐保田畳店 佐保田 善司 さん

いまを話す

日本人の生活とは切り離すことのできない畳。どんなに私たちの生活が洋風化し、椅子とテーブルの生活に馴染んでも、畳のかおりがふっと鼻先をかすめると何とも言えない安らぎを感じるものです。子どもの頃、畳屋さんの店先で作業風景に見とれたことのある方も多いのではないのでしょうか。

現在川崎市内には組合加入ベースで100軒余の畳屋さんがありますが、20代の職人さんはわずか6人。畳職人の世界でも後継者不足は否めないようです。今号はその6人のひとり、佐保田善司さんにお話を伺いました。佐保田さんは、高津区諏訪で祖父の代から続く畳職人の3代目。インタビューでは控えめに言葉を選びながら語っていた佐保田さんですが、作業台の前に立つや身のこなしも手さばきも鮮やかな畳職人がそこにいました。畳職人を志したいきさつなどを、師匠でもある父 菊男さんの言葉も交えてご紹介します。



世代を渡り引き継がれる技 日本の風土にかなった畳の良さを伝える

——佐保田さんはお祖父さんの代から畳職人でいらっしゃるのですが、ご自分も畳の仕事を継ごうと決心したいきさつなどを話してください。

佐保田 物心ついた時には家で父が仕事をしていました。姉が二人で男は僕ひとりだけなので、小学生の頃から僕が継ぐのかなという自然の流れのようなものは感じていました。でも親から言われたことは全くありません。高校も卒業に近づき進路を考えていた頃、たまたまテレビで畳の職業訓練校のことが放映されていたのです。父にそのことを話したら、とにかく茨城にあるその学校を見学してみようということになりました。その時は後を継ぐとか深く考えていたわけではありません。ところが、その学校は住居用の普通の畳だけでなく、人に見せる畳工芸も教える学校でした。畳の工芸品があるとは知らなかったもので、とても興味を引かれました。畳で作った壁掛け、ついたてなどの作品、それから四角だけでなく丸かたり、六角形、八角形の畳を初めて見て、畳の魅力を発見した気がしました。訓練校を見学したことで、畳

のことを学んでみよう、それも家を離れて外で学んでみようというふたつの決心をしたわけです。

——訓練校では、どんな生活を送られたのですか？

佐保田 畳の訓練校は数が少なく、全国から人が集まっています。2年間、帰省も夏と正月の休み以外は基本的にはできません。畳屋は埃商売だから清潔にしなくてはならないと、全員坊主頭でした。反発する人もいたようでしたが、学生同士でバリカンで刈っていました。生徒は皆家が畳屋で、年齢も高校を卒業したばかりの同世代がほとんどでした。厳しい学校なので途中で止めて帰ってしまう人もいと聞かされ、父も最初の1年はとても心配したようです。2年間修了して卒業後、その年の夏に県の検定試験があったので受験し、畳技能検定2級に合格しました。

佐保田(父) 昔は、5年くらいかけて親方が弟子を養成する徒弟制度がありました。我々は多少の小使い賃で親

方に教わったものです。しかし今は養成期間中と言っても、親方はきちんと賃金を払わなくてはならないので、個人で職人を育てることは経営的に難しいようです。

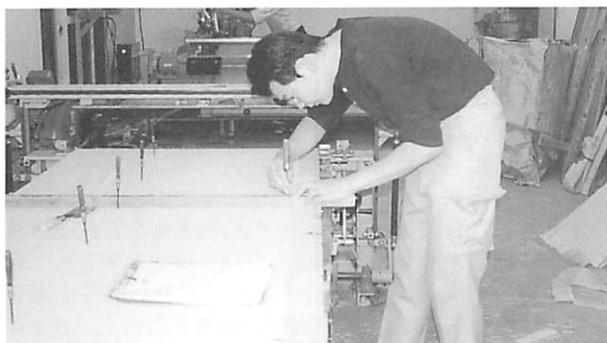
—— 仕事は始めから家でお父さんとごいっしょですか？

佐保田 はい。2年目の冬休みから家で仕事を始めました。実際の作業では、学校で習う基本に加え細かいことが要求され、父からは気が付くたびに注意されました。訓練校に入ってから父の仕事を見ていますが、効率良く動いているし、細かいところにとっても気を使っていると思います。

佐保田(父) ちょっとした繊細さで違いがでるのです。例えばイグサを真っ直ぐに縫うと敷いた時にとってもきれいです。6畳、8畳と広い部屋になるほどそういうところで上手い、下手がわかってしまう。今は機械にコンピュータまで入っていて、機械を回していればある程度はできてしまいますが、同じミシンで縫ってもちょっとした加減で差が出る、そのあたりは学校で学べることはないようです。

—— 満足感を感じるのはどんな時ですか？

佐保田 寸法どおりに仕上がって、元の場所にきっちり納まった時です。仕事を始めた頃は真直ぐでないと注意されたこともありますが、隙間なくぴたりと合って、自分の思った通りにできた時はうれしいですね。それから、縁の角がきれいに仕上がった時。よく「縁はすべてぴたっと合って、角は豆腐を切ったように作れ」と言います。これなども始めの頃、うまくできた時は父が褒めてくれました。「職人」とか「職人技」などと人に言われることがあります。特にそういう意識はありません。ただ、良い仕事ができ、それを父や他の人にも認めてもらった時は張り合いを感じます。



物差しと小包丁で寸法通りに印をつける「カネ入れ」という作業

—— 仕事を始められて6年ですが、今まで印象に残っている仕事は？

佐保田 お寺の仕事です。本尊の間の畳は、縁の柄が縦



3ヶ月の修行で作った両面使えるゴザ。今でも大切にっています

縁と言って特殊なのですが、左右同じ柄を出すのはかなり難しいのです。学校で習った技術や、父から学んだことをフルに発揮できる仕事は張り合いがあります。こういう仕事はめったにないのですが。

—— お父さんは息子さんの修行中や仕事を始められてから、特に印象に残っていることはありますか？

佐保田(父) これは息子が訓練校に入学して3ヵ月くらいで作ったゴザです=写真上。普通の畳屋が縫ったゴザは裏表がありますが、これは両面共使えます。両面使用のゴザなんてどうやって作るのかと驚きました。一安心したのは、その後、訓練校の作品発表会を兼ねた父母会で、息子の作品を渡された時です。親が作ったこともない工芸品を見せられて、「こんな短期間で」と嬉しかったです。工芸品を作る特殊な技術というものは身に付けていなくても畳の仕事はできます。ただ、私の畳は一味違う、機械化の時代だからこそ人とは違った味を出すための修行や技術は必要だと思います。プロにしかわからない技かもしれませんが。

—— 今後の抱負をお聞かせください。

佐保田 この道に入り6年余りの駆け出しですが、住み良いとお客様に喜ばれる畳を作り続けたいと思います。最近の建築は洋間が多くなりましたが、和室は高温、多湿の日本の風土に適しています。夏涼しく冬暖かいなど畳の良さをもっとわかってもらうためにも、一生が勉強だと思っています。

佐保田 善司 さん (さほだ・ぜんじ)

1975年、2女1男の末子として高津区に生まれる。94年、茨城県畳高等職業訓練校入学。95年、全国総合技能展に屏風を出品、労働大臣賞受賞。96年、特殊変形畳製作などを習得し訓練校卒業。2級畳技能士。諏訪神社祭り囃子保存会会員。趣味はドライブ。

●まなぶ●

かわさき市民アカデミー中国研修旅行
悠久な歴史の古都 発展する都市に学ぶ

かわさき市民アカデミー受講生及び事務局職員39人は、9月24日から28日まで4泊5日の日程で中国研修旅行にきました。

研修団は、川崎市の友好都市である瀋陽市の表敬訪問、高度新技術開発地区での研修、第31中学校と瀋陽婦女児童宮の見学の後、大連、旅順、青島を訪ねました。



研修団「瀋陽婦女児童宮」で交流する

研修旅行参加者の感想

- ▼国土の広さは当然、貧富の差の激しいこと、若い世代のひたむきさ・向上への意欲が感じられました。(保科)
- ▼研修旅行の目的である瀋陽市訪問では、心のこもったもてなしに感動しました。特に婦女児童宮での子供たちの素晴らしい演技には圧倒され涙ぐむ人さえいたほどでした。(清水)
- ▼発展著しい中国の現状と一人っ子政策を受けての英才教育の現場に接することができ、中国の底知れぬパワーを実感しました。(佐々木)
- ▼道路で広場で、ホテルや商店といたるところで見られた中国の人々の強烈で圧倒されそうな生き様が最も印象的でした。(宇那木)

陶芸室「一般開放」のご案内

陶芸を楽しみたい方にプラザ陶芸室を開放します。

- 【日 程】 1/10、1/24、2/21、3/7の各木曜スタート
1/11、1/25、2/22、3/8の各金曜スタート
各全3回。手びねり・ロクロコースあり
- 【時 間】 9：30～12：30の部 13：30～16：30の部
- 【対 象】 市内在住か在勤の18歳以上で陶芸の心得のある方。先着各16人
- 【費 用】 室料3回分2000円（材料費など実費負担）
- 【申し込み】 12月1日(土)から電話・ファックス及び来所

問い合わせ 学習事業室
☎044(733)6626/Fax 044(733)6697

生涯学習ア

●はぐくむ●

黒川青少年野外活動センター開所10周年
もちつきと森づくり！

「黒川青少年野外活動センター」は、川崎市最後の分校「柿生小学校黒川分校」の閉校後、平成3年に現在のセンターが完成しオープンしました。これまでの利用者は約18万人にのぼります。開所10周年を記念して「黒川のもちつきと森づくり！」を開催します。師走の一日、ご家族やお友達と一緒にもちつきや植樹、しめ飾りづくりを楽しんでみませんか。

日 時 12月22日(土) 10時～14時
参加費 300円(餅代、保険など)
申し込み 12月1日(土)から電話で受け付け(先着300人)

問い合わせ 黒川青少年野外活動センター
☎044(986)2511



川崎市子どもの権利に関する条例-その8
川崎市子どもの権利委員会

川崎市子どもの権利委員会は、市における子どもの状況や子どもにかかわる施策を、行政や市民と対話する中で子どもの権利の観点から検証し、市長に答申や意見具申する第三者的な機関として位置づけられています。

職務としては、市長の附属機関として諮問を受けて、子どもに関する施策の調査、検証を行い、その結果について答申します。また、市が子どもの権利の行動計画を策定する際には、意見を述べます。

子どもの権利委員会の委員は10人(学識経験者8人と公募による市民2人)で、任期は3年です。

本年9月20日に第一回子どもの権利委員会が開催されました。市長から委員の委嘱を受け、諮問事項としては①「子どもの権利に関する行動計画への意見」②「子どもの参加の検証」の二点について調査・審議を進めていきます。

子どもの権利条例は市民が参加して意見を交換して、条例の案を作りあげてきました。子どもの権利委員会も市民参加の趣旨を大切にして取り組んでいきます。

詳細は子どもの権利条例第7章を参照してください。

問い合わせ 市民局人権・男女共同参画室 ☎044(200)2344

ラ・カルト

●たのしむ●

冬の「スポーツ教室」のご案内

寒い時季に身体を鍛えておくことは、1年を通しての健康の維持・増進に大きく役立つといわれます。この冬楽しく学ぶスポーツ教室で体力づくりしませんか。

①スノーボード教室 (場所：津田山 スノーバ溝の口)

12月25日(火)～12月28日(金) (対象は小学3年以上)
A…1日体験コース10時から / B…同12時半から
C…4日間マスターコース15時から 定員各15人
受講料：A B - 3500円 C - 13000円

②テニス教室 (場所：等々力テニスコート)

1月18日～3月8日の毎週金曜 全8回
初級コース 9時半から / 中級コース 11時半から
受講料 (教材費込み)：9600円 定員各16人

③エアロビクス教室 (場所：生涯学習プラザ)

1月22日～3月12日の毎週火曜 全8回
受講料：4000円 定員40人

◆申し込みは、往復はがきに教室名・コース名・住所・氏名・年齢・電話番号を記し①12月11日(火)②同15日(土)

③同22日(土)必着で、下記にお送り下さい。

〒211-0064 中原区今井南町514-1 生涯学習振興事業団

問い合わせ スポーツ事業室 ☎044(733)5572

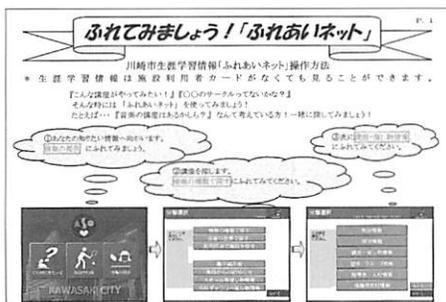
●さがす●

生涯学習情報「ふれあいネット」

操作方法のガイドパネル完成

市内42カ所の公共施設に設置されている利用者端末「ふれあいネット」では、施設の予約だけでなく、情報提供もしています。講座・催し物情報、団体・グループ情報など、いろいろ活用されています。このたび、より身近にご利用いただけるよう「生涯学習情報『ふれあいネット』操作方法」のガイドパネルを作り、利用者端末のそばに備えました。これを見ながら画面をタッチすれば簡単に情報を引き出せますので、ぜひお試しください。

問い合わせ 学習情報室 ☎044(233)6250



ガイドパネルはA4サイズです。図は1枚目です。

ハート & ハーモニー Vol.18

ホノルルマラソンに学ぶ

世界最大のマラソン大会はどこでしょうか？

完走人数で見ると、2000年の資料では1. ロンドンマラソン31648人、2. ニューヨークシティー29375人、3. シカゴ27889人で、4. パリ、5. ベルリン、6. ホノルルと続いています。7～10まではアメリカの大会が続き、世界の大都市は大規模なフルマラソン大会を持つのが当たり前になっています。

大都市でこれだけ多くの人走るの、「人間性の回復」「道路は人間のものに」「治安の向上」など多くの進んだ意識と目的が複合したものです。2つのマラソン大会がありながら、合わせても完走人数が2桁少ない東京という都市は、世界の大都市とは違った精神で動いているとしか言いようがありません。ロンドンもニューヨークもすでに参加人数制限を行っているのです。

それぞれのマラソン大会が個性的な歴史を持っています。中でも2002年に30回を迎えるホノルルマラソンは、日本人が最も多く走る(一国の外国人が過半数を占める)大会として有名ですが、大会を始めたのは心臓病の快復者とその主治医である点でも、多くのことを教えられる大会です。今でも注意をして見ていると3万人の参加者に混じって「ブレイクハート」のTシャツを着たランナーに会います。背中には誇らしげに完走した年を全部書いてあります。

心筋梗塞を起こしてバイパス手術を受けた人が、リハビリテーションを行う中で「ゆっくりであれば、もっと長くでも安全に走れるのではないか」と言い出し、主治医が「準備さえ怠りなければ可能だろう」と考えたことは画期的です。その上、一般人も巻き込んで週1回のマラソンクリニックを公園で開き、「制限時間なし」の大会を実現したホノルルマラソン協会というボランティア組織も立派です。今までに、招待されなくてもオリンピックのメダリストが何人も走っている理由が良く分かります。

「完走した人だけが完走Tシャツを着る」のも最初からの伝統です。当日ボランティアに回る人は、交通規制のない大会前に全コースを自力で移動すれば「完走」と認められるのもユニークです。「自分の決めた目標に向かって、前を向いて進んでいる人には等しく拍手を送り、ゴールを待ち続ける」のがこの大会を支えるアロハ精神です。

ホノルルマラソンは毎年12月の第2日曜日に開催されます。

(健康教育担当 スポーツドクター 野田晴彦)

ぐるーぷBOX

それぞれの感性を表現する

「にがて画じゅく」

絵を描くのがにがてな人や自信のない人、うまく描けない人を対象にした絵画サークルがあると聞いて高津市民館に出かけました。その名も「にがて画じゅく」(後町怜慈代表、会員30人)。3年前、同館主催の成人学校「にがて克服画塾」の受講者で発足したこの会は、菅原順一さん(駒沢女子短期大学講師)の手ほどきで、クレパスや水彩を用いて個性豊かに描いています。

伺ったこの日は水彩絵の具のあつかいに慣れるため、風景画のコピーを教材に模写していました。講師の菅原さんは「今みなさんがしていることは、料理でいうと下ごしらえの段階です」とたとえを交え、分かりやすく説明しながら机の間を回ります。「筆の跡がくっきりと残ってしまったね。こういうときはティッシュをぬらしてその部分をふき取って。それでも消えないときは白の絵の具で薄くのぼして」と具体的にアドバイスしています。

これまでに描いた作品を見せていただきました。画用紙いっぱいクレパスで描かれた運動靴は油絵のような

風合い。5個並んだ薄茶色のピーマンは個性的。ガラス花瓶の抜けるような透明感。どれも「本当にうまく描けないという人の作品?」と言いたくなるような見事な出来映えでした。

会員の声「褒め上手の先生のおかげで劣等感から解放されます。みなさんからいろいろ刺激を受けて、このサークルで絵を描くことが楽しくなりました」。

- ◆活動日：月2回、土曜10時～12時
- ◆場所：高津市民館ほか
- ◆連絡先：☎・Fax(853)4475 遠藤さん



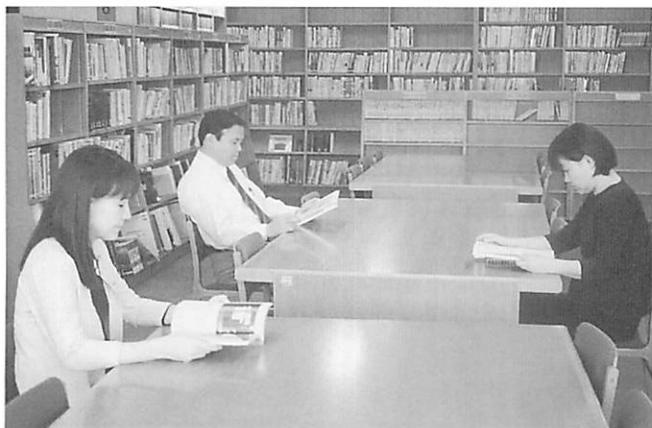
いま地域で学校で

図書館を一般開放する

川崎市立川崎総合科学高等学校

多摩川の川面に映る15階建ての川崎総合科学高等学校(神田益夫校長、生徒数808人)は、平成5年4月、川崎市立工業高等学校を改称し、同時に学科も新設改編して新世紀に対応するインテリジェント・スクールとして出発しました。

同校では施設の一部を市民の方々に利用してもらおう



と、3階にある図書館(広さ900平方メートル、蔵書数24,000冊)を平成6年3月から開放しています。

図書館には書籍(一般教養部門、郷土川崎に関するもの、専門書)、雑誌、新聞、視聴覚資料などがあります。また、4階にはビデオ、レーザーディスク、DVDなどのマルチメディアコーナーもあります。利用できるのは中学生以上で、時間は平日が14時～19時、土・日曜は10時～17時となっています。休館は月曜と祝日、年末年始、行事実施日、入試日などです。現在は閲覧のみ利用となっています。

一日平均の利用者は10人前後で、地元の小向地区の人たちをはじめ、麻生区や宮前区からもみえるそうです。伺った土曜日の午前中には、6人が閲覧していました。高津区から来た男性は「日本史に興味があり、落ち着いた場所で読書したいので来ています」と話していました。

同校図書館主任の舟山正洋教諭は「図書館が市民に親しまれ、身近かな生涯学習の場となるよう、さらに整備をしていきたいと思います。将来的には貸し出しができるようになるといいのですが…」と語っていました。

問い合わせは☎(511)9836の図書館一般市民開放受け付けまで。場所は幸区小向仲野町5-1。

川崎駅からバス。御幸公園前下車、徒歩2分。

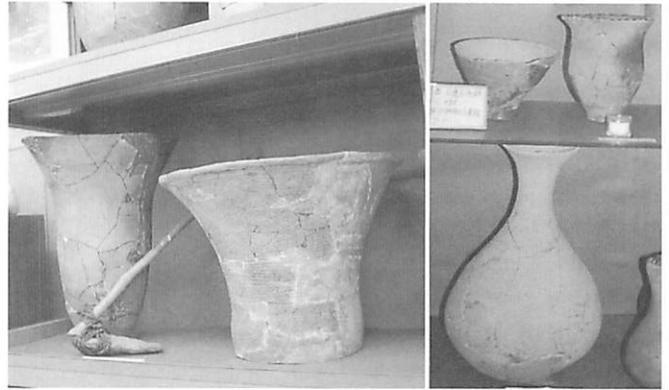
まち・ひと・多面体

我が町の古代人に思いを馳せる

「川崎考古学研究所」

戦後間もない昭和20年代、現在の東急田園都市線鷺沼駅付近で山林の開墾作業をしていた持田春吉さんは、地表に姿を現した無数の土器片を見つけました。この発見が、約5500年前の縄文時代前期の「鷺沼遺跡」発掘につながります。多摩丘陵の開発に伴い、持田さんはその後数多くの遺跡の発掘調査に関わることになります。しかし、調査が終わると遺跡のあった場所には建物や道路が建設され、出土品の保存場所もありませんでした。

昭和54年、意を決した持田さんは出土品の整理・研究・展示をするために「川崎考古学研究所」を設立します。ここでは出土品の水洗いに始まり、接合、復元、報告書作成、展示を行っています。展示品は縄文から古墳時代にかけての石器、土器、鉄器、装飾品など。縄や竹などで付けられたもようが鮮やかな縄文土器=写真左、すらりと伸びた曲線が優美な弥生土器=写真右、そして、古墳に副葬品として納められた鉄の刀、青銅に金箔をかぶせた金環(耳飾り)などを見ることができます。



土器は発掘された時点では、大半が割れたりひびが入っているので、接着剤や石膏を使った修復作業を経て、原型を取り戻すのだそうです。また、石器と一口に言っても、木の実の殻を割る、取り出した木の実をすり潰して粉にするなど用途はさまざま。「粉にした木の実は、やまいもと混ぜてクッキーのように焼いた」などというお話を伺っていると、はるか昔の古代人がとても身近に感じられてきました。

問い合わせは、☎044(854)7621の同研究所、または(866)0515の持田宅。見学は随時、必ず事前連絡を。無料。場所は宮前区有馬9-5-18、鷺沼駅下車徒歩10分。

くらし百景

歌壇

多摩短歌会

- | | |
|---------------------------------|-------|
| 強風に落ちざりし梅熟れすぎも虫喰いもよし三箱が香る | 秋月チヅエ |
| 咲き満つるニセアカシアの花房はわづかの風に小花散らすも | 内田 逸 |
| ゆかたまとふ蜻蛉の模様なつかしき少女のころの心は杏し | 岡本 コマ |
| 手紙には夫の看護の姉思ひレンジ・レシピを書き添へてあり | 金濱 淳 |
| 格子戸を閉ざして今井の街暗し軒の間の星のしるけさ | 加藤キミコ |
| その意図をはかりかねつつケ・セラ・セラ今宵花火にどんと押されぬ | 志野 彩 |
| 十年振り赤ん坊のエレナは娘さん手縫いのゆかたにL下駄はかす | 下原 芬 |
| 群るるなく番にあらずひとつ来て黄蝶は見する小さき孤の舞 | 田島 生子 |
| 雨の中書写山めぐる高僧の説話のまぶし白足袋まぶし | 野村 クニ |
| ほんのりと香り初めたるキンカンのあまたの花に小蜂のむるる | 野村 ナル |
| ゴビ砂漠達坂城に風車の様めぐり風力発電機並む | 水谷 安子 |
| 花粉避けこもるとふ「鬱」もしまひたし明るき春日に雛を納む | 矢吹 邦子 |
| 子に従きて移りし街に二十年祭囃子はいまだに他郷 | 坂本 恵子 |

※平成元年秋、多摩市民館の成人学校「短歌のあじわい」の延長として「多摩短歌研究会」が誕生し、さらに本年「多摩短歌会」として新しく旅立ち現在に至っております。毎月第二金曜日の午後、多摩市民館の一室で歌会を持っています。指導は若田正先生で、成人学校以来の講師です。実作指導とあわせて行われる現代短歌の鑑賞はわかりやすくとても楽しいです。

代表 志野 彩

情報コーナー イベントパーク 講座・コンサート他

●第12回川崎市ミニホッケー大会

平成14年2月3日(日)9時15分～16時半、とどろきアリーナ。対象は市内在住の小中高生、70チーム。参加費100円(保険料)。☎12月15日(土)までに各こども文化センターへ。詳細は☎(932)8300の川崎市こども文化センター内同大会事務局。

●東芝科学館 ①わくわく実験ショー～静電気

②ガリレオ工房科学実験教室～電気パンを作ろう

①は12月8日(土)。静電気の正体を解説。②は12月22日(土)。牛乳パックの中にパンの材料を入れ、電極を差し入れて作る。時間は①②共10時と13時半。無料。定員は①各250人②は小学4年以上各50人。要予約。無料。☎(549)2200。

●サロン・ド・シャンソン10周年記念発表会

12月12日(木)13時半開演、麻生市民館。構成・指導は庄司淳、川口信子(ピアノ)、店網邦雄(ベース)。曲は「愛の讃歌」「バラ色の人生」他。無料。☎(987)7673の二村さん。

●ランチタイムコンサート マリンバ&パーカッション

12月19日(木)。12時15分開演、市役所第3庁舎ロビー。無料。出演は田村優輝子、西原大樹他。曲は「ブラジル」「クリスマスメドレー」他。☎(222)8821の文化財団。

●岡上分館成人学校①芸道萌芽②朗読入門

①は平成14年1月11日～2月8日の金曜10時。講師は小島裕子・都立大講師。②は1月15日～2月12日の火曜10時。講師は白藤玲子・元文化放送アナウンサー。受講料各2000円。定員各30人。☎1月5日(土)10時に来館。☎(988)0268。

●青少年創作センター～新春創作教室①絵手紙②七宝焼

①②とも平成14年1月31日～2月21日の毎木曜、全4回。時間は①10時②13時半。成人対象。定員各30人、抽選。費用は①3200円②4500円。☎1月10日(木)までに往復はがきに教室名、住所、氏名、性別、☎を記し〒214-0034 多摩区三田2-3303-1、同センター。☎(911)1510。

●青少年創作センター～新春創作教室(小・中学生対象)

①クレイアート②絵画③はた織り

①は平成14年2月3日(日)9日(土)10日(日)11日(祝)の13時半。

②2月9日(土)10日(日)11日(祝)17日(日)の9時半。③2月9日(土)10日(日)11日(祝)の9時半。定員は①②30人③12人、抽選。費用は①1300円②1500円③1000円。☎1月10日(木)までに往復はがきに教室名、住所、氏名、性別、電話、学校名・学年を記し〒214-0034 多摩区三田2-3303-1、同センター。☎(911)1510。

●平まなびあいグループ Andante 講座

12月7日(金)10時。場所は宮前区の平こども文化センター。「母を生きる、自分を生きる」と題し、小澤牧子・和光大学講師が話す。1000円。当日直接。☎(865)8056堀内さん。

●玉川大学公開講座

12月開講の「博物館学講座」「ハンドベル講習会」「童謡・唱歌」などの受講者を募集。受講料は1000～9000円。詳細は☎042(739)8895の同大継続学習センター。

●写真展

12月3日(月)～29日(土)。場所はスナック喫茶琴。福士岩夫の作品(風景、スナップ)を展示。☎(544)0507。

●アジア IN コミック展—私たちはどこへ行くのか?

12月4日(火)～平成14年2月3日(日)まで。川崎市民ミュージアム漫画ギャラリー。香港、韓国、日本などの11人の新進気鋭作家の新作110点。一般500円、高大生300円、中学生以下と65歳以上は無料。月曜休館。☎(754)4500。

●骨髄バンク休日ドナー登録受付

12月9日(日)10時半～15時半。場所は横浜新都市センター市民フロア第3ミーティングルーム(横浜そごう9階)。対象は20～50歳の健康な人で、白血病などの血液難病の方に骨髄液の提供を希望される方。事前予約(当日受付も可)。☎045(210)5111の神奈川県保健予防課。

●中国文化交流会会員募集

中国語を学ぶ会です。毎週水曜10時～12時、新ゆりグリーンタウンプラザ集會場で(初級者対象)▽毎週木曜13時～17時、麻生市民館(入門～中級)で行っています。見学自由。☎(989)1665の宮田春紅さん。

近日刊行「かわさき市民アカデミー講座ブックレット」No.6～No.8

アカデミーの開設講座で行われた講義の一部をまとめた「ブックレット」に、新たに下記の3冊が加わります。

No.6 「文学の中の日本語～深く読むために」—早稲田大学日本語研究教育センター講師 塩崎紀子

外国人に日本語を教えることを仕事としている講師が「日本語を生きる」とはどういうことなのかを、文学作品を題材に語った講義録(650円)

No.7 「いま、宮澤賢治を読みなおす」—東京大学教授 小森陽一

「春の修羅」(宮澤賢治という多面体)、「山男の四月」(資本主義の恐怖)を取り上げ、時代背景との関連を交えて解説する(650円)

No.8 「日本経済の将来」—京都大学教授 間宮陽介

自由化、グローバル化、IT革命、ナショナリズムをキーワードに、90年代の日本の問題や構造改革の落とし穴について説く。日本経済の将来を考えるポイントは?(650円)

◆お申し込みは、かわさき市民アカデミー事務局 ☎044(733)6626/Fax 044(733)6697